

やらまいか精神を取り入れた浜松型デジタル人材の育成プロジェクト～ 社会で活躍できるスペシャリストの育成 ～

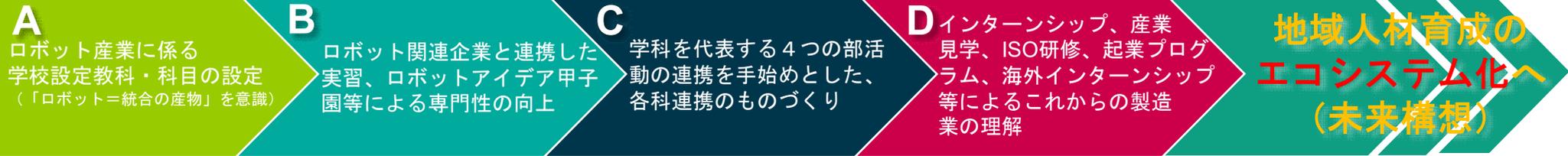
事業概要

ヤマハ発動機、浜松市、静岡県教育委員会及び本校の連携によって、
地元企業が求める人材像を共有するとともに、**人間性と専門性を備えたスペシャリストの育成**を図る。

事業目標

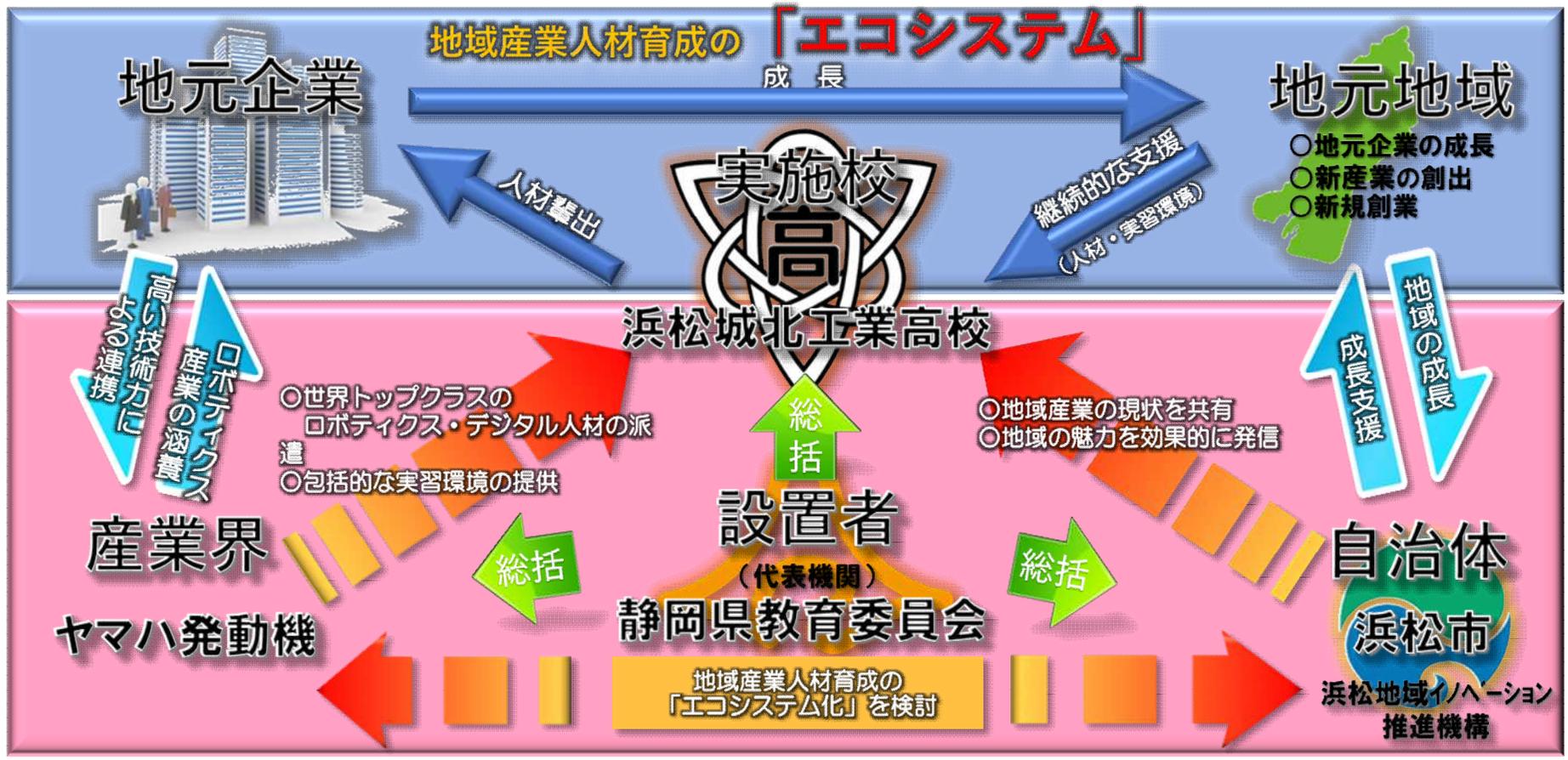
本事業によって産業界と連携することで、
学校の魅力化を図るとともに、**地域のロボティクス・デジタル人材育成**の使命を果たす。

M・H
 ン
 ン



未来構想

マイスター・ハイスクール



やらまいか精神を取り入れた浜松型デジタル人材の育成プロジェクト～ 社会で活躍できるスペシャリストの育成 ～

以下の取組により、ロボティクス・デジタル人材の育成を図る。

- ロボット産業に係る学校設定教科・科目の実施・完成年度。
- ロボット関連企業との連携によって、施設、設備の活用とともに、講師派遣を受けて実習を行う。
- 事業終了後の自走化の検討。



学校設定科目「ロボティクス概論・実習」を開講

- ロボット工学についての入門としてロボティクスの基礎とロボットをとりまく製造業の現状について学ぶ。
- R6年度から全科1年生を対象に、長期休業中に5日間の集中講義で実施した。
- 地元ロボット関連企業に講師を依頼し、それぞれの企業が取り組んでいる事業の実例を踏まえた講義を受講することを通して、工業の見方・考え方を働かせ、ロボット工学についての知識および技術を育成するとともに、工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成、課題を発見し解決する力、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことを目標とする。

ロボティクス人材育成の体系的な教育課程が完成した。

ロボット学習のススメ
ロボットの設計・開発
ロボットを活用した生産
ロボットによる課題解決
ロボットによる革新



A

B

M・Hビジョンにおける
取組実績

「海外インターンシップ」を実施

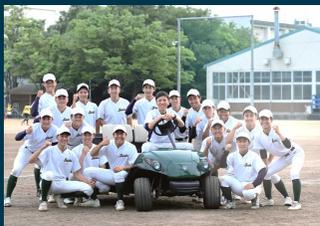
- 海外で活躍したい！製造現場を見たい！海外で活躍する日本企業をみたい！
- 令和6年8月にヤマハモーターフィリピン (YMPH) 工場を訪問(3泊4日)
- 英語によるコミュニケーション、工場体験、ディーラー訪問、異文化体験などマイスター・ハイスクールでしかできない体験が盛りだくさん。



海外に対する興味・関心が高まり、英会話の必要性を生徒が認識するようになった。

4科連携・企業連携によるものづくりの実践

- 機械科、電気科、電子科、電子機械科、全4科の生徒による共同ものづくりを体験する中で、自身の専門分野の仕事・考え方を他者に知らせる力を身に着けるとともに、自身の専門外分野の仕事・考え方をすることで連携を学ぶことを目的とする。
- 企業紹介Jタイムズ1年次「放課後Jタイムズ」2年次「自動車産業Jタイムズ」
- ヤマハ発動機から寄贈されたゴルフカートをグランド整備車に改造



学科の良さを活かした学科・企業連携により開かれた学校の実践が可能になった。

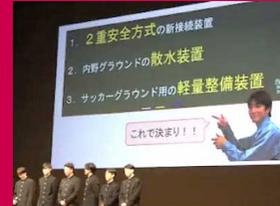
C

D

「マイスター・ハイスクール事業成果発表会」の実施

テーマは共感と共有～楽しく伝え活動の輪を広げる試み

- 地元企業や自治体の協力で実践したマイスター・ハイスクールの活動を紹介。「城北マイスターアワード」と「やらまいか賞」を授与。
- 共感して活動に参加してもらうこと、活動を広げることを目的とする。従来の学校の発表会の形式を超えた楽しく心に響く発表会と講評
- 取組を広げ、入学広報にもつなげることで人材のエコシステムを構築できた



学校の活動を地域に公開することの大切さと効果を実感できた。

成果と課題

- R7年度からの自走化に伴う組織作りと、予算を企業や団体から協賛を募る仕組みを整える必要がある。
- 学校内で自走化を続けるための組織として「MH推進室」を分掌として立ち上げ、効果を感じた。今後も継続する必要がある。
- 取組成果の可視化と事業の県内実業高校への展開をすることで静岡県全体の産業人材育成システムを構築することが中長期ビジョンである。